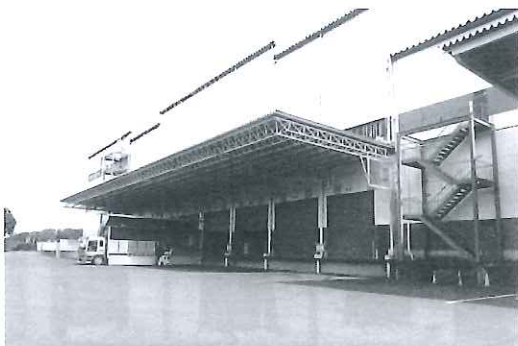


ナカノ商会

10月に「柏沼南物流センター」開設、即フル稼働へ

2015年9月期は売上高300億円、経常利益10億円を目指す



柏沼南物流センター

ナカノ商会  
（本社・東京都  
江戸川区、沼澤  
宏社長）の20  
14年9月期の  
連結業績は、売  
上高260億  
円、経常利益5  
億円の増収増益  
となる見通し  
だ。下期におけ  
る消費税増税後  
の反動減が顕著

せ、売上高300億円、経常利益10億円を目指す。  
14年9月期の上期は、東日本大震災後に新設した物流センター（辰巳センター、博多支店、福島第六物流センター等）がフル稼働。消費税増税前の駆け込み需要を背景とした荷動きに支えられ、予算達成率96%で推移。例年は下期に好業績となるが、増税後の反動で食品、飲料、アパレルなど消費財の荷動きが伸びず、予算は未達となった。

で、売上高、経常利益ともに予算を下方修正することとなった。15年9月期は、10月から千葉県柏市で「柏沼南物流センター」が稼働予定。関西支店および東北の共同配送事業を軌道に乗

15年9月期は、10月1日に「柏沼南物流センター」を開設。物流不動産ファンドが工場をコンバージョンし、バリエーションアップした倉庫で鉄骨造鋼板葺3階建て。高床、低床両方のバースを備え、汎用性に優れた倉庫で、ナカノ商会の周辺の拠点を集約するとともに、新規貨物の獲得により立ち上げ時からフル稼働となる。



沼澤宏社長

同倉庫は  
ナカノ商会  
がマスター  
リースし、  
テナントに  
賃貸してい  
たが、テナ  
ントが退去したことから、営業倉庫としての運用に切り替えた。ナカノ商会では自社オペレーションも想定し、ロケーション、仕様、コストにおいて競争力のある倉庫を戦略的に調達しており、今回も営業倉庫に切り替えるや集荷はすこぶる好調だった。

このほか福岡地区で6600平方メートルの倉庫を確保する方向で準備を進めている。福岡支店（福岡市東区）、博多支店（同）がフル稼働しているため、パッファ倉庫という位置付けだが、本格的な福岡地区第3の拠点も検討する。また、大阪地区においても首都圏および東北地区と同様、競争力のある拠点を模索している。  
なお、14年3月にセキュリテイ事業を分社化

し、新会社セキュラス（本社・東京都江戸川区、沼澤宏社長）を設立。画像認識技術を用いた次世代セキュリテイシステム「セキュリテイ・ゾーン」のソフトをバージョンアップし、増資も予定。15年9月期以降、大手販社と連携し、世界に向けた販売を狙う。

昨年末に千葉県市川市の倉庫駐車場にオープンした、トレーラハウスを活用したうどん屋「羊家」飯店舗については、周辺に飲食施設の少ない物流拠点を中心に移動式店舗を展開する計画だが、給排水設備、発電機等を搭載すればイベント等への出張も可能で、大型けん引免許を保有したトラックによるキャラバンも視野に入れる。

沼澤社長は14年9月期を振り返り、「お客様は永遠（に当社の倉庫にいるわけ）でないという前提で拠点づくりをしている。コストやロケーション、スペックの面で競争力のある倉庫については賃貸する場合でも社員を投入し、情報収集、ノウハウの蓄積に努め、営業倉庫としての運用に備えている」と語った。